

## 第2期中期目標に係る法人評価で「非常に優れている」と認定されました

平成29年6月、文部科学省から本学の『第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果』<sup>1</sup>が公表されました。法人評価と呼ばれる本評価は、平成22～27年度の6年間における各国立大学の教育・研究・社会貢献の状況を国が評価したものです。

同書冒頭の全体評価で高大接続教育事業が言及され、さらに項目別評価（教育に関する目標）においても次のように記載されました。

### 〈特記すべき点〉

#### （優れた点）

##### ○ 高大接続教育事業の推進

平成24年度から8分野において高大接続教育事業を実施している。例えば、ビジネスや地域づくりに関するユニークなアイデアを募集する「高校生なるほどアイデアコンテスト」では、第2期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）に60件の入賞作が出ており、入賞者のうち12名の学生が大分大学に入学している。また、接続学習プログラムの一つである「基礎数学補習」の受講生は、工学部の必修科目「基礎数学」の試験において、不合格者はおらず、最も評価の良いSの獲得者が46%に達するなど高い成績を残している。

さらに各大学の個別計画を評価した『中期目標の達成状況に関する評価結果』<sup>2</sup>も公表されました。本学の場合、44の中期計画を設定し、その実績が4段階（1～4点）で評価されましたが、高大接続教育の計画は、本学で唯一、最高点の4点（非常に優れている）の判定を受けました。残り43項目については、3項目が3点（良好）、40項目が2点（おおむね良好）と判定されました（表1）。

表1 判定結果一覧

		非常に優れている	良好	おおむね良好	不十分	合計
		4点	3点	2点	1点	
中期計画		1	3	40		44
		2.3%	6.8%	90.9%		100.0%

<sup>1</sup> 第2期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果 大分大学 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/houjin/detail/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/detail/)  
2017年6月9日アクセス

<sup>2</sup> 国立大学法人の第2期中期目標期間における教育研究の状況の評価結果 [http://www.niad.ac.jp/n\\_hyouka/kokuritsu/kekka\\_h28/](http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/kokuritsu/kekka_h28/)  
2017年6月9日アクセス